Ⅰ　実践

1　研究主題(目標)

・生徒の人権感覚や人権意識の育成をめざして
～体験活動や探究活動の中で、人間的なふれあいを通して平等や人権尊重を学ぶ～

（１）主題設定の理由

本校では、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間の生き方について自覚を深め、自己の能力を養うことを目標に掲げて日々教育活動に全職員で取り組んでいる。その中で、体験活動を生かした道徳教育の充実や教育活動全体を通した人権教育の積極的な推進、社会奉仕体験の実践としてボランティア活動を行っており、これらの体験を通して生徒の人権感覚や人権意識の育成が図れると考える。

（２）研究のねらい

研究活動全体を通して、教師と生徒の信頼を深め、誰とでも心を開いた話ができる人間関係をつくることにより、個々を尊重し、人それぞれを理解する機会を増やしていく。また、本校の伝統行事である海岸清掃や地域の一人暮らしの高齢者に花を贈る活動などを通して、学校と家庭・地域社会との連携を図る中で、幅広い人権尊重ができる生徒の育成に努める。

（３）研究内容(努力点)

①　望ましい集団活動の充実に努める。
・多様な体験活動を通して、自分を大切にするとともに相手の心の痛みが分かる生徒の育成

②　教育活動全体を通して、人権教育の推進を図る。
・教育相談の充実
・各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間との関連

③　学校と家庭・地域との連携及び啓発を図る。
・授業参観、家庭訪問、学校だより等を通しての保護者への理解・啓発
・学校と家庭・地域社会との連携による人権課題の正しい理解のための啓発活動の推進

2　実践内容

（１）学習活動

①　社会科
歴史・・・江戸幕府の成立と鎖国(様々な身分と暮らし)、近世の日本(兵農分離と朝鮮侵略)
公民・・・人間の尊重と日本国憲法において人権の歴史や様々な人権について学習を行い日本人としての必要な人権の知識を学ぶ。

②　道徳
・学級の実態に合わせて取り上げた資料や身近に考えさせられる題材を活用し、意見交換を通して自分の考えを深める。

③　学級活動
・構成的グループエンカウンターやロールプレイングを活用して、活動しながら相手の立場を考え、自分の行動を見直す機会をもつ。

（２）生徒会活動

①　地域の一人暮らしの高齢者に花を贈る活動

ア　目的
地域に住む一人暮らしの高齢者宅を訪問し、お年寄りに敬意を表するとともに、花にメッセージを添えて贈ることで、人と人との絆の大切さを学ぶ。

イ　期日
・平成29年 7月18日(火)、平成29年12月20日(水)

ウ　計画

日　時	活　動　内　容	備　　考
学　活 (1時間)	打ち合わせ ・生徒は地区ごとに分かれる ・各地域ごとに担当の教師がつきそう ・花を贈るお年寄りの氏名住所の確認 ・メッセージカードの作成	・相手の立場に立った言葉遣いなど、人権について考えさせる。 ・地区ごとにグループを作り、訪問宅を決める。 ・グループごとに花に添えるメッセージカードを作成する。 ・訪問時のマナーを確認する。
当　日 (放課後)	・集会 ・訪問	・昇降口前に集合し、集会を行う。 ・花を受け取り担当するお年寄りのお宅を訪問する。

エ　事後の指導

手紙のやりとりなどを通しながら、心の交流を図り、地域とのつながり、感謝の気持ちを深められるようにする。

② いじめ撲滅集会

ア　目的

いじめに関する河原子中学校の現状と正しい知識を共通理解し、いじめを撲滅するためにできることを考えることを通して、生徒一人一人のいじめ撲滅への意識を高める。

イ　期日

・平成29年11月14日(火)

ウ　事前の活動

月日	活動内容	分担
9/25～29	いじめに関するアンケート実施	生徒会役員
9/29	アンケート集計	学級委員・生徒会役員
10/3～11/10	いじめに関する話し合い活動(道徳)	各学級
	各学級発表準備	各学級
11/10	事前リハーサル	学級委員・生徒会役員

エ　当日の活動

時間	活動内容	留意点
14:50	1　開会の言葉	
14:52	2　生徒会役員の説明	・集会を行う目的等を確認する。 ・アンケートの結果を中心に河原子中の現状を説明する。 ・いじめの定義を確認する。
15:00	3　各学級の発表 (各クラス３分以内)	・話し合い活動を行ってまとまった提案内容を各学級の代表者が発表する。 １-１ ⇒ １-２ ⇒ ２-１ ⇒ ２-２ ⇒ ３-１ ⇒ ３-２
15:20	4　生徒会役員による発表	・絵本「わたしのいもうと」をスクリーンに映し、いじめを実感できるようにする。 ・生徒会役員が感想をインタビューする。
15:35	5　いじめ撲滅宣言	・生徒会役員で撲滅宣言カードを作成しておき、全体に提示して唱和する。
15:40	6　生徒指導担当の話	・いじめ防止に向けてお話をいただく。
15:45	7　閉会の言葉	※ 教室に戻って振り返りカードを記入する。

３　成果

・毎日の学校生活の中で、お互いを認め合い、高め合う機会をもつことにより、普段あまり意識することがなかった他者を理解しようとする視点をもつ機会になった。
・地域と密着した継続的な生徒会活動により、お年寄りと交流して心のつながりを感じることができた。世代の違う相手との交流を通して、自然に思いやりや感謝の気持ちをもって接することができた。
・いじめ撲滅集会をとおして、改めていじめが絶対にしてはいけないことであるという意識を高めることができた。また、困っている友達に対して優しい気持ちで接することの大切さについて再確認する機会となった。

Ⅱ　今後の課題

教育活動全体を通して、生徒たちが人権感覚や人権意識を育成できるような取組を実践してきた。生徒たちは、人権意識は高まってきている。しかし、実際の生活の場面では、偏見からくるトラブルの発生など、まだまだ実践力はついていないと感じる。

人権について知り、意識することで、実践力はついてくるものと考えられるので、人権に対する共通理解を進めるとともに、体験活動や探究活動などの取組を継続して、より実践力を高めていきたい。